

前期終業式 & 後期始業式 校長講話

今日は、昼間定時制において前期と後期が入れ替わる日です。何かにつけて気持ちを切り替える良いきっかけにしてほしい日でもあります。その気持ちを切り替えるきっかけになってもらえるよう、2つの話題を提供したいと思います。

1つ目の話題です。本日1・2限に履修登録説明会が行われましたが、普段よりは少し真剣に将来の進路について考えるきっかけになりましたか？自分が好きなこと・夢中になれることは何か？そのために何を学習すれば良いか？今が楽しければ良いではなく、数年先の自分をイメージして考えてほしいと思います。ただ、皆さんの卒業後の世の中はどのような社会になっているのか、先行き不透明で予測が難しい時代になると言われています。

そのような状況の中、進路の手引きにも書きましたが、皆さんにとって「好きなこと」「興味あること」「夢」について、じっくり時間をかけて考えてほしいと思います。そして、周りの人に相談したり、自分の頭の中で思いを巡らしたりした後に、何かしらの行動を起こして、自分に合った将来のイメージを肌で感じてください。今できることをやってみることで、その一瞬に一步踏み出すことで、次第に先に進む道が見えてきて、その道がさらに大きく拓き始めると考えます。

進路を切り拓く力の源は、やはり「好きなこと」「興味あること」「夢」といった自分の体の中から沸き起こる熱い想いです。そして、夢が叶った未来の自分はどんな表情でどんな生活しているのかを想像し、具現化することで日々の努力が充実したものになると考えます。6月の中央セミナーのテーマが「大好きなことを中心に生きる」でした。講師の森さんは花粉症から逃れるために、百人もの多くの人にアドバイスを受けて道を切り拓きました。周りからの評価を気にすることなく、自分のやりたいこと、自分に相応しい役割を見つけました。また、お金や生活のためよりも「楽しんで働く」ことを勧めていました。一朝一夕では為し得ることはできませんが、夢実現のためには、やはり小さなことでも良いので行動を起こす必要があると感じました。

そして、「自分には無理」といった諦める気持ちや、「これぐらいでいい」といった妥協する気持ちが一番いけないと思います。進路実現に向けての勉強等、辛いことや苦しいことがきっとあると思いますが、どうか自分の力を、自分の未来を信じて前に進んでください。もし自分の将来や進路について不安を感じたり悩んだりしたら、すぐにスタッフや身近な先生方に相談してください。私たちはいつでも皆さんを応援しています。

2つ目の話題は、後2週間後に控えた中央祭についてです。コロナ禍の中、制約を多く受ける中央祭になるかも知れませんが、普段の日常と違う経験が出来る良い機会にしてほしいと思います。すでに実行委員として準備を進めている人も多いかもしれませんが、一つのことを作り上げていくのは、とても大変なことだと思います。けれどもきっと良い経験ができると思います。一人の力はそれほど大きくなくても、協力してみんなの力を合わせれば結構大きなことができると思います。そのためには、周りの人と会話しながら相談しながら決めていく場面も増えると思います。でも、この「誰かと会話して相談する」ことって結構ハードルが高くないですか。

- ・話した内容、つまり、自分の考えが相手に伝わったかどうか心配になったことはありませんか？
- ・相手の言葉の真意を間違ったまま理解した、つまり、誤解が生じたことはありませんか？

でも、あまり神経質に気にしない方が良いと思います。そもそも、一人ひとり生きてきた歴史が全然違うわけで、一人ひとりの考え方や感じ方が違うのは当たり前だからです。分かり合えなくて言い争いになることが、一緒に生活している親子であっても夫婦であってもあり得ます。

この分かり合うことについては、9月の中央セミナーの講師だったCAの松原先生もおっしゃっていましたね。国籍や地域、宗教の違いによって差別や偏見が生じたとしても、まずは、コミュニケーションを取ることが大切であると。しかも、自ら進んで関係を良くしよう、誤解を解こうと関わりを持つように行動することの重要性を力説されていました。

私も同感です。人間というものは、言語というツールを使ってコミュニケーションを取りながら集団生活を送る生き物なので、使う言葉を丁寧に選び、相手に誠意を持って理解してもらおうと努力することは必要かなと考えます。簡単には分かり合えないかもしれませんが、お互いがお互いの立場や思いを汲み取りながら会話して相談ができることを期待します。

ついでに話をすると、メールやLINEなど、便利ではあるけれど、文字だけのやりとりなので、自分の考えを正確に伝えられなかったり、相手の考えを取り違えたりするので注意してくださいね。

それでは、皆さんが後期も充実した学校生活を送れることを期待して、前期終業式 & 後期始業式の校長講話とします。